

## エイチアールワン 沖縄進出

### 人事管理最大手 来月開所

人事管理業務アウトソーシング事業最大手のエイチアールワン(東京都、武谷啓社長)が6月、浦添市西原に沖縄センターを開所する。企業の給与計算や社会保険、納税のデータ処理、人事異動情報の管理など人事関連業務の委託管理(BPO)を手掛ける。11人体制でスタートするが、業務拡大に合わせ、2年後には同センターを現在の同社の従業員数に相当する4000人規模に拡大する計画。

16日、那覇市内のホテルで開かれた開所式「写真」で武谷社長は「人事管理業務に特化したアウトソーシング拠点は県内では初めて。雇用拡大と同時に、沖縄のBPO産業を大きくする弾みになれば」と期待した。

同社は住友信託銀行、パナソニック、花王が出資して2002年に人事サービスコンサルティング社として設立。09年に三菱商事の人事管理会社と事業統合した。現在、出資会社のほか、製薬会社や生命保険会社、アパレルなど全国約230社、33万人の人事



管理業務を受託している。沖縄は東京、大阪に次ぐ3番目の拠点。企画や営業機能

は首都圏に置き、給与計算などの事務処理機能を沖縄に集約する計画。沖縄センターを設けることで事業所賃料や人件費などを3〜4割削減。その分、サービス料を引き下げて新規の顧客を増やし、業務拡大を目指すという。